

令和 6 年 6 月 20 日

## 令和 5 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志学園  
九州中央リハビリテーション学院  
学校関係者評価委員会

学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院 学校関係者評価委員会は令和 5 年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価委員会を開催いたしました。このことにつきまして下記のとおり報告いたします。

### 1. 学校関係者評価委員会委員

学外委員（順不同）

- 三宮克彦様 医療法人社団寿量会 熊本機能病院 理学療法科科长
- 田尻陽介様 社会福祉法人双友会 グループホームつつじのさと 管理者
- 津田恵美様 くまもと県北病院 看護部長
- 吉田一美様 向山地区第 3 町内 自治会長
- 小川寛之様 九州中央リハビリテーション学院後援会会長（学生保護者代表）
- 古山 仁様 九州中央リハビリテーション学院同窓会会長（卒業生）

### 2. 学校関係者評価委員会

- 開催日時 令和 6 年 6 月 18 日（火）17:30～18:30
- 開催場所 九州中央リハビリテーション学院 1 号館会議室
- 外部委員 三宮克彦、田尻陽介、津田恵美、吉田一美、小川寛之、古山仁
- 学院側 田島徹朗、山崎孝文、福山貴美子、川窪昭子、石崎聖英  
（事務局）
- 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

1. 教育理念・目標	
① 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・少子化問題による受験者動向をはじめ社会経済状況の把握が必要とされる。</li><li>・医療・保健・福祉関連の改定状況の把握を必要とする</li></ul>
② 今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"><li>・各分野における情報収集等の積極的参加（業界の動向やニーズの調査活動）</li><li>・熊本県及び日本・世界の経済動向</li><li>・リハ諸関活動方針</li></ul>
③ 特記事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・全般的に学院の理念・目的・育成人材像は描かれており、学外を含めて HP での公開や保護者会等での資料提供を行っている</li></ul>
基準 1 評価、ご意見	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・日々変わりゆく業界において求められる人材に対応できる学校教育を進めていただきたい。</li><li>・学院の理念や目的・育成人材像など学校案内や保護者用の資料等にきちんと記載され周知されている</li><li>・少子化に加え、半導体関連の就職数の増加など専門学校にとって厳しい時代になってきている。きちんと情報収集できている学校が最終的に生き残っていけると思います。</li></ul>
2. 学校運営	
① 課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・各項目ともに実施はしているものの記録や計画書等の文章化が出来ていない。</li><li>・授業評価を実施しているものの学生からの回答率が著しく少ない。なぜ授業評価を行っているのか等を学生に周知すべきである。</li></ul>
② 今後の改善方策	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業評価のやり方を再検討し、回答率のアップを図る</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録や記録の作成がなされていないことで評価を上げることができていない項目があるため、常に議事録や記録の作成、報告書の提出を行う</li> <li>・各種研修会への教職員の積極的な参加を図る。</li> </ul>
<p>基準2 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員研修の部分において記録等の文章化が出来ていないため評価が落ちている部分が見受けられます。紙ベースでなくともデータとして保存ができる様式等の作成をお願いしたい。</li> <li>・理事会奈祖はきちんと開催されており、運営組織については適切に行われていると見受けられます。</li> <li>・学生が授業を評価することによって下の学生により良い授業が提供されるという授業評価の意義を学生に周知していただき多くの回答が得るようにしていただきたい。</li> </ul>
<p>3. 教育活動</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や学習の観察については、専任教員を中心に不定期で行っているが、定期的には実行できていない。また、非常勤講師については、何か問題が生じた際にその対策として授業に入ることはあったが、遠慮があり定期的な観察は行われていない。</li> <li>・外部の教育編成委員（業界関係者）にカリキュラム作成の経過や結果を報告しているが、カリキュラム変更計画当初からの関りが不十分であった。</li> </ul> <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期・後期等の定期的な授業観察の実施</li> <li>・カリキュラム変更に際しては、計画段階で業界関係者の意見を聴取する。</li> </ul> <p>③ 特記事項</p>
<p>基準3 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師の授業に観察のために入るのには確かに遠慮があり難しい部分もあるかと思いますが、観察の目的を説明し、全ての非常勤講師の授業ではなく先ずは数名の非常勤講師の授業の観察を始められたらいかがでしょうか。</li> <li>・カリキュラムの編成については教育課程編成委員会の委員の方に計画段階で意見を求められるように勧めていただきたい。</li> </ul>
<p>4. 学習成果・教育成果</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科ともに、修業年限の中で一応の成果を出せている。</li> <li>・国家試験の合格率の全国レベルより優れている。</li> </ul> <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染状況を確認しながら、基本的な感染対策を取りつつ、効果的な学習方法や活動を多く取り入れ、学生の成長に繋げていく必要がある</li> </ul>
<p>基準4 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の人間、特に保護者や高校の先生が一番見ている部分は国家試験の結果だと思います。毎年、いい結果を残しておられるのを見ており、先生方も努力されているものと思われます。</li> <li>・例年、不合格になった学生についても10月から最終学年と一緒に国家試験対策を行うことで最終目標までしっかりフォローしていただいていると感じました。</li> <li>・就職についても就職希望者100%就職。とても素晴らしい結果だと思います。</li> </ul>
<p>5. 学生支援</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中途退学した学生に関する情報をデータ化し、退学率の低減に向けた要素を分析する必要がある。</li> <li>・卒業生への卒業後教育についてはまだまだ不十分である。</li> </ul>

<p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点を把握し分析した結果を基に、指導体制を構築し対応する。</li> </ul>
<p>基準5 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々問題を抱えている学生の入学が増えていると思われます。(学力低下、家族背景、メンタル面)</li> <li>学生サポート委員会やLINEでのカウンセラーの面談予約など実施され学院全体で学生を支援しているのが分かります。</li> <li>・保護者への欠席メールについても学生をサポートするのによい手段だと思います。</li> <li>・いったん卒業してしまうと卒業生への関りが減ってくるものだと思います。同窓会などと連携して卒業生とのかかわりを持っていただきたいと思います。</li> </ul>
<p>6. 教育環境</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考図書・関連図書については、電子書籍では充実しているが、通常の紙媒体での書籍の充実も検討の余地がある。</li> </ul> <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考図書や関連図書の定期的新刊購入を行う</li> </ul>
<p>基準6 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療系の学校となると設置すべき備品関係が多くなってくると思います。修理や買い替えなどで対応されておられるようで、学生の授業に支障の無いように施設や設備の整備をお願いします。</li> <li>・高額になる人体モデルなどは、各学科共通で利用できるものは時間割を考慮して1つのモデルを複数の学科で使用できるように効率化を図られるといいのではないのでしょうか。</li> </ul>
<p>7. 学生の受入れ募集</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳人口の減少するなか、教育体制・教育成果を学生募集に反映できるように努力する。</li> </ul> <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動において実施した結果の分析に基づき、実施内容の改善・向上、並びにホームページの充実に取り組み、学生募集活動の充実を図る</li> </ul> <p>③ 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学科の定員数の見直し等も必要となるかもしれない。</li> </ul>
<p>基準7 評価、ご意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳以下の人口の減少、医療系大学の増加、半導体関連の就職率の上昇など専門学校にとっては厳しい状況になっていると思いますが、九州中央リハビリテーション学院は熊本県下でも最大級の専門学校となっており、例年、多数の学生を受け入れておられます。高校訪問やガイダンス等の積極的な参加でさらに学生数を増やしていただきたいと思います</li> </ul>
<p>8. 教育の内部質保証システム</p>
<p>① 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検・自己評価を行った後の改善計画の策定・実施はなされているがその検証が不十分である</li> <li>・卒業生に対してのアンケート調査やヒアリング調査などを通じて卒業後のキャリア形成への効果の把握ができていない。継続課題である</li> </ul> <p>② 今後の改善方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定された改善計画の実施、及びその結果の検証をおこなう。</li> <li>・計画ごとに期限を設け、検証も含めた実施計画を立案する</li> </ul> <p>③特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護に関しては学生が臨地実習に出向く際には必ず実習先に個人情報保護の誓約書の提出を行っている。</li> </ul>

基準8 評価、ご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善計画の項目の評価が低いようです。特に卒業後のキャリア形成への効果の把握については、同窓会との連携により改善をお願いしたい。</li> </ul>
9. 財務
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度予算については毎年度理事会等で承認を得ているが、中期計画（5年程度）の計画の策定が出来ていない。</li> </ul> </li> <li>② 今後の改善方策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教学、人事、施設、財務等における中期計画の策定</li> </ul> </li> <li>③ 特記事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務基盤は安定し、予算収支計画は妥当なものとなっている。</li> <li>・適切な監査が行われ、財務情報はホームページ上に公開されている。</li> </ul> </li> </ul>
9. 評価、ご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務に関して適切な処理が行われていると感じています。少子化や色々な諸問題を抱えて入学する学生などで今後の中期計画の策定は難しいかと思いますが、漠然とした中で今後の方向性を検討していただきたい。</li> </ul>
10. 社会貢献・地域貢献
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生並びに教職員を含め社会貢献・地域貢献を行っている</li> </ul> </li> <li>② 今後の改善方策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や福祉施設等のボランティア活動の再開を計画。</li> </ul> </li> </ul>
基準10 評価、ご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の住民を対象とした健康体操などを再開していただけるとありがたいと思っています。</li> </ul>
11. 国際交流
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国から直接受け入れる本学院独自の仕組みを作ることが今後の課題である。</li> </ul> </li> <li>② 今後の改善方策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国から日本へ送り出してくれる信頼のおける日本語学校の開拓及び連携を図る</li> </ul> </li> <li>③ 特記事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の日本語学校からの受入れは行っている。</li> </ul> </li> </ul>
基準11 評価、ご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より留学生の受入れを再開されたとのこと。</li> <li>・定員を上回る留学生が入学されたので是非介護福祉士の資格を取得して活躍していただきたい。</li> <li>・介護は人材不足になっている。このような留学生が資格を取得し人材不足の解消に役立っていただきたい。</li> </ul>
全体に関する評価、ご意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に記録の不備により評価が落ちている部分が見受けられます。忙しい業務の中ですが今後とも医療・福祉の人材育成に頑張ってください。</li> <li>・昨年度より評価が上がっている項目も見受けられますが、逆に評価が下がっている部分もあります。評価をして終わりではありませんので、再度見直しを行いより良い学院づくりをお願いします。</li> </ul>